

生活習慣病センターだより

～ワルファリンだけじゃない！薬と食品の相互作用～

2017年5月発行

医薬品同士の相互作用を気にされることは多いと思いますが、医薬品と飲食物との相互作用でも注意が必要な場合があります。

よく知られている例では、納豆とワルファリン（ワーファリン®）がありますが、今回は代表的な医薬品と飲食物の相互作用を紹介します。



グレープフルーツジュースとニフェジピン

グレープフルーツに含まれる成分が、肝臓での薬物代謝を阻害して、薬物の血中濃度を上昇させてしまう。結果として薬の効きすぎにより、血圧が下がったり、頭痛、めまいなどの症状を引き起こすことがあります。

グレープフルーツジュースはシンバスタチン（リポバス®）との併用でAUCが16倍に上昇したとの報告があります。他にもカルバマゼピンやシクロスポリン（ネオーラル®）等とも相互作用があり注意が必要です。

牛乳とシプロフロキサシン

牛乳やカルシウムを多量に含有する飲料と同時に服用すると、キレートを形成し吸収が低下し効果が減弱されるおそれがあります。

空腹時に牛乳で服用するとCmaxが36%低下、ヨーグルトではCmaxが47%に低下したとの報告があります。



チーズとイソニアジド(イスコチン®)

イソニアジドのMAO阻害作用により、チーズに含まれるチラミンが不活性化されずに吸収され、ノルアドレナリンの遊離を促進し血圧上昇、動悸があらわれることがあります。

他には、セレギリン（エフピー®）、イミプラミン（トフラニール®）等とも相互作用があり注意が必要です。



教室名	内容	日時
肝臓病教室(総論)	肝臓病の治療とは、薬物療法、日常生活における注意	6月12日(月)15:00～
糖尿病教室	糖尿病とは、糖尿病の食事療法、薬物療法	6月22日(金)14:30～
肝臓病教室(各論)	肝硬変①(肝硬変とは 食事療法・運動療法)	6月26日(月)15:00～
肝臓病教室(総論)	脂肪肝とは 食事療法・運動療法	7月10日(月)15:00～
糖尿病教室	糖尿病の合併症と運動療法、フットケアと日常生活	7月20日(金)14:30～
肝臓病教室(各論)	肝硬変②(肝硬変の治療・薬物療法・症状のケア)	7月24日(月)15:00～
生活習慣病教室	生活習慣病予防のための運動療法のポイント	8月18日(金)15:00～
肝臓病教室(総論)	肝臓病の働きと病気・症状・検査	8月21日(月)15:00～
肝臓病教室(各論)	肝臓がんとは (病態、主な症状とその看護)	8月28日(月)15:00～